

教育功労者表彰

教育功労者の表彰は、教育、学術又は文化の振興などに関し、特に功績が顕著であった個人または団体を表彰するものです。受賞された皆様、おめでとうございます。※敬称略 【教育総務課】

千葉県教育功労者

【学校教育の部】

鈴木 孝弘 市川市立真間小学校 校長

千葉県学校体育功労者

岡 良和 市川市立第八中学校 校長

市川市教育委員会教育功労者

| | | |
|--------|------------|-------|
| 蜂須賀 久幸 | 市川市立市川小学校 | 校長 |
| 田代 邦子 | 市川市立国分小学校 | 校長 |
| 早川 淳子 | 市川市立鬼高小学校 | 校長 |
| 新井 直樹 | 市川市立二俣小学校 | 校長 |
| 堀切 宏 | 市川市立新浜小学校 | 校長 |
| 杉本 雅彦 | 市川市立塩焼小学校 | 校長 |
| 田中 成志 | 市川市立妙典小学校 | 校長 |
| 川又 和也 | 市川市立第四中学校 | 校長 |
| 佐々木 愁子 | 市川市立第七中学校 | 校長 |
| 齊藤 千津 | 市川市立菅野小学校 | 教諭 |
| 杉本 生美 | 市川市立南新浜小学校 | 教諭 |
| 渡邊 邦彦 | 市川市立行徳小学校他 | 学校医 |
| 尾林 紀雄 | 市川市立第八中学校他 | 学校医 |
| 熊倉 直高 | 市川市立大柏小学校 | 学校歯科医 |
| 前野 早苗 | 市川市立信篤小学校他 | 学校薬剤師 |



教育実践記録論文

教育実践記録論文「いぶき」は、教職員の力量の向上を目指し、教育実践をまとめることが自己研鑽につながるとして、昭和54年に始まった事業です。昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響から、教育活動の様々な場面での制限がある中で、一般部門6編、フレッシュ部門(講師を含む)6編の計12編の応募がありました。どの論文からも、子供たちの成長のために、真摯に取り組む先生方の姿を読み取ることができました。【教育センター】

【一般部門】全6編

| 賞 | 学校名 | 氏名 | 分野 | テーマ |
|-----|-------|--------|------|--|
| 最優秀 | 大野小 | 宇山 由則 | 情報教育 | Society5.0を担う子どもたちを育てるために ～AIとプログラミングで身近な課題を解決しよう～ |
| 優秀 | 妙典小 | 永瀬 悟 | 社会 | 社会的事象の見方・考え方を働かせて、 歴史と対話する子の育成 ～6学年・「武士の世の中」の実践を通して～ |
| 努力 | 大野小 | 宮森 健治 | 教育課程 | 教科担任制におけるカリキュラムマネジメント |
| 努力 | 下貝塚中 | 長崎 誠 | 理科 | 草花を使った造形活動22年の歩み ～幼稚園教諭資質向上研修講師を務めて～ |
| 努力 | 須和田の丘 | 千葉 千江 | 学級経営 | 学級活動を軸とした人間関係作り ～より良い友達とのかわり方を目指して～ |
| 努力 | 須和田の丘 | 蓑部 さやか | 情報教育 | ICT機器を活用した特別支援学校(知的障害)に おける小学部の取り組み ～個に応じた指導・支援の充実を目指して～ |

【フレッシュ部門(教職経験年数5年以下)】全6編

| 賞 | 学校名 | 氏名 | 分野 | テーマ |
|-----|-------|-------|------|---|
| 最優秀 | 宮久保小 | 菊地 青佳 | 国語 | 学びが楽しくなる言葉の指導 ～語彙力を高め、生き生き活躍する児童の育成～ |
| 優秀 | 鶴指小 | 内川 佳代 | 外国語 | 図書・総合・社会科と外国語のクリルを目指して ～内容学習と言語学習を結びつける試み (授業実践を基に)～ |
| 優良 | 稲越小 | 笹沼 孝志 | 学級経営 | 自ら学ぶ力の育成を目指して ～子どもたちに学びの楽しさを伝える実践～ |
| 優良 | 須和田の丘 | 大熊 杏奈 | 道徳 | 特別支援学校における道徳授業について ～体験的な活動を通して～ |
| 努力 | 宮久保小 | 鈴木 康平 | 学級経営 | 一人一人が生きる学級経営を目指して ～目的をもち、主体的に活動する児童の育成～ |
| 努力 | 妙典小 | 山田 賢 | 学級経営 | 学級を自治的集団に高めるための学級の在り方 ～リレーションの確立を目指した「日記」と 「学級通信」の取り組みを通して～ |



【一般部門最優秀】
大野小学校 宇山由則教諭



【フレッシュ部門最優秀】
宮久保小学校 菊地青佳教諭

令和3年度「優良PTA」文部科学大臣表彰 市川市立大野小学校 父母と教師の会

文部科学省では、PTAの健全な育成と発展に資することを目的として、毎年度、優秀な実績を上げているPTAの表彰を行っています。大野小学校 父母と教師の会は、コロナ禍においても、「かけこみ110番ウォークラリー」や家庭教育学級、校内標語コンクールの主催および優秀作品の看板作りなどの活動を行いました。また役員決めの在り方の改革を行うなど、積極的な姿勢が高く評価され、表彰式では全国110団体を代表して文部科学大臣から表彰状を受け取りました。

特に「かけこみ110番ウォークラリー」は、児童も地域の方々も楽しみにしている活動の一つで、令和3年度に18回目を迎えました。参加した児童が「かけこみ110番」の看板を掲げたお店やお宅を回り、協力のお礼を伝えながらお花を届けます。年に一度、看板設置の新規募集や設置継続の意思確認等を行う機会となるだけでなく、お店やお宅にとっても、「児童が助けを求めにくることがあるかもしれない」という意識の再確認につながり、形骸化を防ぐことにもつながっています。児童・保護者・教職員・地域が一体となって、「子どもの安全活動」に取り組んでいます。

【学校地域連携推進課】



表彰式の様子(出典:文部科学省ホームページ<https://www.mext.go.jp>)

ドイツ・ローゼンハイム市メートヒェン・リアルシューレ校との交流が今後も途切れないよう、お互いの様子などを伝え合うために、オンライン交流を実施しました。オンラインの特性を生かして、海外の先生と1対1で英語を習ったり、ドイツの市内の紹介をライブ中継したりしました。現地へは行けませんが、英語でのコミュニケーションを通じて、外国の文化に触れることができました。【指導課】



ドイツの学校で日本の研修の風景が流される様子



【オンラインで集合写真!】

フィリピン・セブ島の先生と
生徒が1対1で英語を学びました。

令和3年度 市川市中学生 海外交流事業



オンライン旅行・ドイツ